

平成23年度東播磨スポーツ吹き矢講習会報告

開催日時 平成23年7月23日(土) 13:30~15:00 天候 晴れ

場 所 兵庫県障害者スポーツ交流館

講師 嶋田 英明氏

真夏の太陽が照りつける晴れの土曜日、兵庫県障害者スポーツ交流館において東播磨地区委員会によるスポーツ吹き矢講習会が開催された。講師はスポーツ交流館嶋田英明氏にお願いした。初めての吹き矢講習会であるが参加者は車いす利用者3名、知的障害者・身体障害者1名、小学生1名、健常者1名とバラエティーに富んだメンバーが集まりスタートした。最初は講師である嶋田氏の試技を見て全体像のみをイメージし早速全員で試してみた。

各自10本ずつ矢を持ち嶋田氏の掛け声で1本ずつ矢を吹いていき全員が打ち終えたのを確認してから次の矢を吹いていく。思っていた以上に上手くいかず矢は7m先の的には当たらない。狙いを定めて息を一気に吹き再度チャレンジするがうまく飛ばないかの的に当たらない状況が何度か続いた。それでも時間が経っていくうちにだんだんと的に当たるようになってきた。

30分程度練習をしたところで休憩をとったがメンバーからは思っていた以上にしんどいという声が多かった。吹き矢は姿勢をしっかりと保ち集中しながら吸った息を一気に吐き出し矢を放つため想像以上に神経を使うスポーツであることがよくわかった。また、上級者になればなるほど矢の並びが縦一列になりばらつきも少なくなるとのことで上下左右に矢がばらつくということは姿勢が悪いか矢を吹くときに体がぶれている可能性が高いと説明があった。確かに参加者の矢の後はばらつきが多く安定はしていなかった。

休憩後は試合形式で各自5本ずつ6回を1セットとして2セットおこない得点を争った。

勝敗は的を射た点数を計算しより高得点をだすという極めて簡単なルールであったが合計で60本もの矢を吹いたため徐々に集中力が途切れだし2セット目は各自1セット目と比べて極端に点数が下がってしまった。参加したメンバーはたかが吹き矢とタカをくくっていたが大きな過ちだったと身をもって体験でき予定していた1時間半はあっという間に過ぎてしまったが参加者からはとても楽しかったと感謝の言葉をいただいた。今回のスポーツ吹き矢は比較的簡単なルールでおこなえ間口は広く開けられており生涯スポーツにも適しており誰にでも身近なスポーツとして受け入れられたいと思われる。またコストの面においても今回用意していただいた吹き矢の用具一式は全て手作りであったとのことで比較的入手もしやすく経済的であったと思う。ただし吹き矢の威力は想像以上に強いため吹き矢をする場合はルールの順守と安全面の確保は怠らないようお願いしたい。それさえ守れば子供から老人・障害者まで幅広く楽しめるスポーツであり一度体験すればその気持ち良さと楽しさは期待を裏切らないものであると言えます。



報告者 東播磨地区委員 小寺 正健